

新人歓迎会を開催して

親睦会副会長 藤澤かえで

4月5日に「コミュニティプラザあおい」にて新人歓迎会を行い、今年も多くの職員が参加しました。その人数116人。普段話す機会が少ない社員同士の交流が活発に会話も弾みました。

乾杯後は、皆さん個々に馴染みのある方ともお酒を交わし、楽しい会話をしている姿を見て親睦会役員一同、企画してよかったと思いました。

徐々に会場の空気があたたまりだした頃、色鮮やかな料理の数々が登場しました。和食、中華、洋食どれも絶品でした。

歓迎会も半ばに差し掛かったころ、部署ごとに新たに入職された方の挨拶をいただきました。麻酔科の中明先生のご挨拶では「ヨガが趣味」という言葉で驚きの声があがっていて、ヨガを教えてもらおうかなと思った人が多かったと思います。

このたび歓迎会に参加できなかった方も、ヨガについて聞きたい事があれば中明先生へご相談されてみてはいかがでしょうか。

お忙しい中ご参加いただきありがとうございました。新入職員のみなさん、これからも私達と一緒に頑張りましょう。



親睦会会長の挨拶



麻酔科 中明先生



結婚報告をした職員も！



新入職員の皆さん

バトンタッチ

5階病棟 田中芽依

5階病棟の田中です。看護師としては今年で5年目となりますが、最も印象に残った出来事をお話したいと思います。

以前勤めていた病院で、ある認知症の患者さんがいました。初めは身の回りのことは自立していましたが、加齢に伴い徐々にADLが低下していきました。食事もとれなくなり、歩行も困難となりましたが、唯一排泄の時だけは必死に起き上がっていました。移乗も大変であり、膀胱留置カテーテルを挿入しましたが、それでもトイレに一度座って安心しなければ臥床しませんでした。多忙な勤務状況であり、起き上がりによる離床センサーの作動する間隔も数分おきと短くなっていたため、その患者さんに対して感情的になってしまうこともありました。

そんな中、徐々に状態が悪化し、移乗も困難な状況となりました。それでも息を切らしながら必死に起き上がり尿意を訴え続け、安静も保持できないため、職員間で話し合い、3人がかりでポータブルトイレに移乗しました。患者さんはトイレに座ると安心して笑顔になり、その数十分後に息をひきとりました。その時に患者さんの気持ちを尊重し、安心した状態で亡くなるのができて良かったと同時に、感情的になってしまったことをとても後悔しました。

この経験から、自尊心は亡くなるまで消えないということを改めて学びました。今後もしも多忙な勤務状況であっても、患者さんの言葉に耳を傾け、想いを尊重することを心掛けていきたいと思っています。



次回は、放射線科の久保さんへバトンタッチ。

江別谷藤病院 外来診療体制

診療科	時間	月	火	水	木	金	土
整形外科	午前	谷藤 高橋	谷藤※1 大本	大本	谷藤 下	谷藤	谷藤 高橋※2
	午後	大本	高橋	高橋	大本 下	高橋	
内科	午前	後藤	小泉	後藤 大川原	後藤	小泉	小泉
	午後	小泉	後藤	小泉 渡辺	小泉	後藤	
消化器科	午前	後藤		後藤 大川原	後藤		
	午後		後藤			後藤	
脳神経外科 リハビリ科	午前				野崎※3		
	午後		野崎※3	野崎※3			
もの忘れ外来	午前					野崎※4	
	午後						
循環器科	午前		非常勤				
	午後						
皮膚科	午前						佐藤
	午後						佐藤※2

※1：手術のため診療時間を11時までと短縮させて頂いております。 ※2：第2、第4週のみ診療を行っております。

※3：緊急手術等が入る場合がございます。

※4：「もの忘れ外来」は予約が必要です。病室受付、もしくは相談室までお問い合わせ下さい（第2金曜日を除く）

医師の不在日等はお電話（011-382-5111）にてお問い合わせ下さい。

～あとがき～

広報委員 穴澤栄子

いつも健康急便をご覧いただきありがとうございます。これからポカポカと過ごしやすい気候になりますね。平成最後の3月には国民的英雄のイチロー選手(野球)の現役引退で驚きの声駆け巡りましたね。新年号に入る時期を先取りした谷藤病院は新しくお二人の先生をお迎えし、更にバージョンアップしております。

これからは皆様の“安心”に繋がる医療施設として、職員一丸となって邁進して参りますので宜しくお願い致します。

<発行元>

医療法人社団
藤花会 江別谷藤病院
広報委員会

北海道江別市
幸町22番地
TEL. 011(382)5111